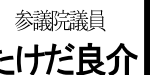




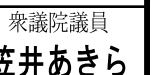
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



衆議院議員
笠井あきら

5月臨時市議会

2回目の臨時議会が5月15日開かれ、新型コロナウイルス対策第2弾の補正予算1850万円の増額が議決されました。

ひとり親家庭に10万円 6月上旬支給

ひとり親家庭応援特別給付金として10万円を支給します。新型コロナウイルス対策で子どもの学校休校や保護者の休業によって経済的な影響を受けているひとり親家庭を支援します。6月上旬支給の予定です。児童扶養手当を受給しているひとり親世帯が対象です。約100世帯を見込み、1000万円を予算化しました。国会では15日、ひとり親家庭を支援するために児童扶養手当を倍増する法案を、日本共産党、立憲民主党、国民民主党などの共同会派と日本維新の会が共同で提出しました（「しんぶん赤旗」5月16日付記事参照）。

食堂など 飛沫感染を防ぐ施設に 市最大10万円+県20万円助成

食事提供施設における飛沫感染を防ぐ施設に補助をします。アクリル板や透明ビニールカーテン、空気清浄器などです。助成限度額は1事業者10万円、かかった費用の90%です。県と同じ趣旨の助成金と合わせて支給します。予算額は600万円です。

持続化給付金

市商工会が申請手続き支援

商工業振興対策として、おやべ元気回復プロジェクトと名付けて助成金を出します。予算額は250万円です。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者の応援や地域経済の回復を目的として取り組む団体に最大50万円を交付します。先週の『週刊明るい小矢部』でお知らせした持続化給付金の申請手続きを支援するために小矢部市商工会が臨時職員を雇用することにも対応します。その他、飲食店組合や青年会議所が取り組むテイクアウトなどの取り組みも想定しています。

新型コロナ対策第2弾の補正予算1850万円

ひとり親児童扶養手当を倍増 野党が支援法案

衆院に提出

日本共産党と、立憲民主党、国民民主党などの共同会派と日本維新の会は15日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的に苦しむひとり親家庭を支援する法案を衆院に共同で提出しました。児童扶養手当の受給世帯を対象に、今年3月から半年間（8月分まで）、同手当の月額支給分と同額を臨時特別給付金として上乗せします。法案には、9月以降の支給についても、半年後の状況も考慮し、継続した給



岡田事務局長（中央）に支援法案を提出する野党衆議院議員15日、国会内

ひとり親家庭を支援する法案を衆院に共同で提出しました。児童扶養手当の受給世帯を対象に、今年3月から半年間（8月分まで）、同手当の月額支給分と同額を臨時特別給付金として上乗せします。法案には、9月以降の支給についても、半年後の状況も考慮し、継続した給

毎週スタンディング・アピール

憲法をまもる小矢部の会

「安倍9条改憲ノー」 「新型コロナウイルス対策で自粛と補償を一体に」などの要求実現を訴えて、憲法をまもる小矢部の会は毎週スタンディング・アピールを行っています。これまでは1軒1軒訪問して署名を訴えてきましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大するもとの、活動のやり方をスタンディング・アピールに変更しました。



ピアゴ前で、買い物客にアピール＝5月5日

4月20日の市役所前・本町交差点を皮切りに（『週刊明るい小矢部』4月26日号で既報）、27日は石動駅北口の交差点、5月5日は「こどもの日」はピアゴ前、11日は石動駅南口・綾子地内、18日は津沢の国道359号線と471号線の交差点で、それぞれの思いのプラスター、のぼり、手書きの看板を掲げて、アピールし続けています。



津沢の国道359号線・471号線の交差点で通勤の車にアピール＝5月18日



石動駅南口で通勤者にアピール＝5月11日